

製造業向け脆弱性管理サービス FutureVuls PSIRT

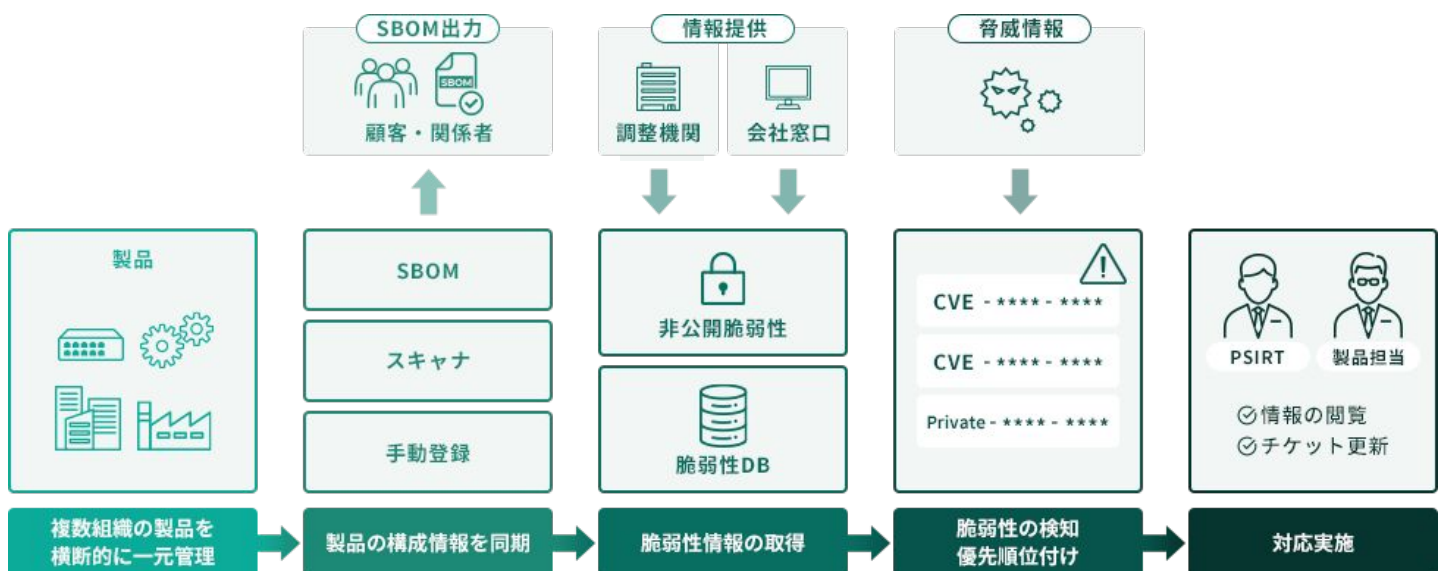
製品のSBOM・脆弱性管理を徹底的に自動化し PSIRTを支援

このような課題はありませんか？

- ✓ 自社製品のリリース後に発見される脆弱性への対応が遅れている
- ✓ SBOM管理に手が回らず、法規制への対応が遅れている
- ✓ 公開されている脆弱性と自社独自の脆弱性を一元管理できていない
- ✓ 大量の自社製品の管理や対応のため、担当者が高稼働になっている

FutureVuls PSIRTは

PSIRT業務を支援し、製品の安全性確保に貢献 します



主なサービス内容

- 脆弱性検知
- SBOM管理 (インポート/エクスポート)
- 自社製品独自の脆弱性情報の管理
- リスク評価
- 資産管理(ライセンス / ライブラリEOL)
- 対応状況のチケット管理

サービスの特長

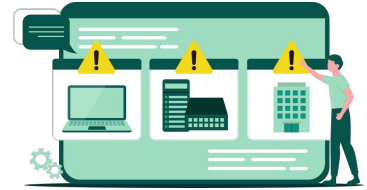
✓ SBOM管理を効率化

ソフトウェア情報を画面上から登録するだけで、SBOMファイルを自動生成可能です。また製品単位やソフトウェア単位でSBOMをインポートし、1つの製品情報として統合管理することが可能です。



✓ 自社製品独自の脆弱性情報を一元管理

開発過程で発生した自社独自の脆弱性情報や JPCERT/CCなどの第三者機関から提供される非公開の脆弱性情報や外部の脅威情報を取り込むことで、対応が必要な情報を漏れなく管理することが可能です。



✓ 脆弱性の特定から対応までのプロセスを効率化

製品に関連する脆弱性の特定、リスク評価、製品担当者への指示まで、脆弱性管理に必要なプロセスを効率化することでPSIRTの負担を軽減し、脆弱性対応の精度・効率の向上を支援します。



FAQ

Q. 無償トライアルは可能ですか？

A. 可能です。トライアル期間は柔軟に対応いたしますので、お問い合わせください。

Q. サポート体制について教えてください。

A. 丁寧な導入支援で、未経験でも安心してご利用いただけます。
また、ご不明点をいち早く解決できるよう、充実したマニュアルをご提供しております。

Q. 情報更新頻度はどれくらいですか？

A. 1日数回情報を更新しているため、公開されたばかりの脆弱性もいち早く検知可能です。

Q. 導入手段が難しくないか不安です。

A. 導入は非常に簡単で、アカウントを作成するだけですぐに使い始めることができます。
サーバーの登録も5分で完了します。

